

2024年度【収支計算書】

事業活動収支計算書

(2024年 4月 1日～2025年 3月31日)

単位：円

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	1,138,865,000	1,141,154,026	△ 2,289,026
		手数料	14,684,000	15,320,400	△ 636,400
		寄付金	141,975,000	142,224,760	△ 249,760
		経常費等補助金	62,467,000	63,211,638	△ 744,638
		付随事業収入	136,853,000	136,306,384	546,616
		雑収入	505,895,000	514,883,395	△ 8,988,395
		教育活動収入計	2,000,739,000	2,013,100,603	△ 12,361,603
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	1,242,519,000	1,229,626,139	12,892,861
		教育研究経費	789,002,000	780,417,342	8,584,658
		管理経費	361,391,000	336,957,466	24,433,534
		徴収不能額等	0	1,122,382	△ 1,122,382
		教育活動支出計	2,392,912,000	2,348,123,329	44,788,671
教育活動収支差額		△ 392,173,000	△ 335,022,726	△ 57,150,274	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	6,570,000	6,570,000	0
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	6,570,000	6,570,000	0
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外収支差額	6,570,000	6,570,000	0	
経常収支差額	△ 385,603,000	△ 328,452,726	△ 57,150,274		
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	242,248,000	242,722,260	△ 474,260
		特別収入計	242,248,000	242,722,260	△ 474,260
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	1,402,000	1,946,404	△ 544,404
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	1,402,000	1,946,404	△ 544,404
特別収支差額	240,846,000	240,775,856	70,144		
基本金組入前当年度収支差額	△ 144,757,000	△ 87,676,870	△ 57,080,130		
基本金組入額	△ 210,221,000	△ 162,525,042	△ 47,695,958		
当年度収支差額	△ 354,978,000	△ 250,201,912	△ 104,776,088		
前年度繰越収支差額	△ 5,783,769,397	△ 5,889,857,268	106,087,871		
翌年度繰越収支差額	△ 6,138,747,397	△ 6,140,059,180	1,311,783		

資金収支計算書

(2024年 4月 1日～2025年 3月31日)

単位：円

科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,138,865,000	1,141,154,026	△ 2,289,026
手数料収入	14,684,000	15,320,400	△ 636,400
寄付金収入	353,575,000	353,824,760	△ 249,760
補助金収入	62,467,000	63,211,638	△ 744,638
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	136,853,000	136,306,384	546,616
受取利息・配当金収入	6,570,000	6,570,000	0
雑収入	505,895,000	514,883,395	△ 8,988,395
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	583,065,000	618,274,238	△ 35,209,238
その他の収入	497,536,000	572,032,458	△ 74,496,458
資金収入調整勘定	△ 874,472,000	△ 871,119,901	△ 3,352,099
前年度繰越支払資金	890,293,376	890,293,376	0
収入の部合計	3,315,331,376	3,440,750,774	△ 125,419,398
支出の部			
人件費支出	1,242,519,000	1,229,626,139	12,892,861
教育研究経費支出	476,067,000	461,466,332	14,600,668
管理経費支出	351,305,000	326,254,450	25,050,550
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	94,342,000	99,128,353	△ 4,786,353
設備関係支出	115,879,000	126,337,128	△ 10,458,128
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	393,518,000	418,237,107	△ 24,719,107
資金支出調整勘定	△ 202,192,000	△ 196,064,755	△ 6,127,245
翌年度繰越支払資金	843,893,376	975,766,020	△ 131,872,644
支出の部合計	3,315,331,376	3,440,750,774	△ 125,419,398

貸 借 対 照 表

2 0 2 5 年 3 月 3 1 日現在

単位：円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
固定資産	5,344,242,942	固定負債	4,892,580
(有形固定資産)	5,220,180,443	流動負債	878,179,645
(特定資産)	0	負債の部合計	883,072,225
(その他の固定資産)	124,062,499	純資産の部	
流動資産	1,283,658,583	基本金	11,884,888,480
		繰越収支差額	△ 6,140,059,180
		純資産の部合計	5,744,829,300
資産の部合計	6,627,901,525	負債及び純資産の部合計	6,627,901,525

財 産 目 録

学校法人ホンダ学園

令和7年3月31日現在

科 目	金 額
一 資 産 額	
(一) 基本財産	5,338,843,666 円
1 土地	2,919,536,636 円
(1) 校地	2,919,536,636 円
2 建物	1,940,017,349 円
(1) 校舎	1,940,017,349 円
3 教育研究用機器備品	313,150,684 円
4 図書	2,741,830 円
5 その他	163,397,167 円
(二) 運用財産	1,289,057,859 円
1 預金現金	975,766,020 円
(1) 現金	537,022 円
(2) 普通預金	975,228,998 円
2 有価証券	5,000,000 円
(1) 株式	5,000,000 円
3 その他	308,291,839 円
合 計	6,627,901,525 円
二 負 債 額	
(一) 固定負債	4,892,580 円
1 長期未払金	4,892,580 円
(二) 流動負債	878,179,645 円
1 未払金	204,732,541 円
2 前受金	618,274,238 円
3 その他	55,172,866 円
合 計	883,072,225 円

監事監査報告書

令和 7 年 5 月 22 日

学校法人ホンダ学園

理事長 高倉 記行 殿

評議員会議長 殿

学校法人ホンダ学園

監事

鈴木麻子 

監事

大島哲夫 

私たちは、私立学校法第 37 条第 3 項、及び学校法人ホンダ学園寄附行為第 18 条 1 項 4 号の規定に基づき、学校法人ホンダ学園の令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）の業務並びに財産の状況について監査した。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人ホンダ学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）、並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。

以上

学校法人ホンダ学園 令和 6(2024)年度 事業実績報告書

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

I. 法人の概要

1. 教育方針

- ＜建学の志＞ : ホンダ学園は世界に歓迎される人間の育成を使命とする
- ＜学園の目的＞ : チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される技術者を育成する
- ＜育成方針＞ : 世界に歓迎される為の・・・
- ・マナーとマインドを磨く
 - ・実践第一の技術力を学び取る
 - ・社会貢献の心と行動力を育む

2. 設置する学校と学科

(1) 設置する学校

ホンダ テクニカル カレッジ 関東 ・ ホンダ テクニカル カレッジ 関西

(2) 設置する学科と修業年限・定員 (2025 年 3 月 31 日 現在)

＜ホンダ テクニカル カレッジ 関東＞

学科名	修業年限	2024 年度 入学定員	2 年次	3 年次	4 年次	総定員
一級自動車研究開発学科	4 年	----	----	----	160 名	160 名
サービスエンジニア学科	2 年	100 名	100 名	----	----	200 名
一級自動車整備学科	4 年	75 名	75 名	75 名	----	225 名
研究開発学科	4 年	85 名	85 名	85 名	----	255 名

＜ホンダ テクニカル カレッジ 関西＞

学科名	修業年限	2024 年度 入学定員	2 年次	3 年次	4 年次	総定員
自動車整備科	2 年	75 名	100 名	----	----	175 名
一級自動車研究開発学科	4 年	100 名	100 名	100 名	100 名	400 名
自動車整備留学生科	3 年	75 名	50 名	50 名	----	175 名

3. 役員、教職員の概要 (2025 年 3 月 31 日 現在)

(1) 役員：理事 10 名 監事 2 名 評議員 24 名

(2) 教職員（嘱託、社会人講師含む）

	教 員	職 員	合 計
ホンダ テクニカル カレッジ 関東	47 名	13 名	60 名
ホンダ テクニカル カレッジ 関西	40 名	10 名	50 名
法人本部	—	9 名	9 名
合 計	87 名	32 名	119 名

II. 事業の概要

1. 令和 6(2024)年度の方針

令和 6(2024)年度は、中長期ビジョンおよび中期方針を定め、事業を推進しました。

<中長期ビジョン>

「移動」と「暮らし」の進化がもたらす豊かな社会の実現に向け
Honda の自動車大学校ならではの教育で
人に喜ばれ、社会に貢献する人材を輩出する

<中期方針>

Honda のフィロソフィーと企業活動(商品・技術・サービス)を
ベースとした実践的な技術者教育で、
時代にマッチした環境/安全の技術進化に追従し、
グローバルで活躍できる整備士・技術者人材を育成する

この中期方針に基づき、中期重点課題として以下の 6 項目に取り組みました。

1. 時代にあった教育カリキュラムの確立（資格取得率 100%）
2. 企業の期待に応える人材の輩出（就職率 100%）
3. 意欲に溢れた学生の確保（入学者数 関東 200 名 / 関西 210 名）
4. 学園の価値を創出する教職員の育成（従業員活性度 3.50pt）
5. 職場環境改革（ICT/インフラ/働き方）（従業員活性度（働きやすい環境がある）3.50pt）
6. 永続的かつ安定的な学校経営基盤の構築（企画進度）

2. 令和 6(2024)年度の事業

(1) 学生の状況 (2025 年 3 月 31 日現在)

単位：名

	サービスエンジニア学科 (E)		自動車整備科 (W)		一級自動車 研究開発学科				一級自動車整備学科 (E)				研究開発学科 (E)				自動車整備 留学生科 (W)			合計
	1 年	2 年	1 年	2 年	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	
関東校	78	63	-	-	-	-	-	116	41	27	54	-	37	39	46	-	-	-	-	501
関西校	-	-	58	57	61	51	57	53	-	-	-	-	-	-	-	-	53	21	34	445
合計	78	63	58	57	61	51	57	169	41	27	54	0	37	39	46	0	53	21	34	946

(2) 資格取得の状況

＜一級自動車整備士（筆記試験のみの結果・口述試験は 5/11 実施 結果は 5/下旬）＞

	受験者	合格者	合格率
関東校	61 名	59 名	96.7%
関西校	27 名	27 名	100.0%
合計	88 名	86 名	97.7%

＜二級自動車整備士＞

		受験者	合格者	合格率
関東校	ガソリン	121 名	121 名	100.0%
	ジーゼル	121 名	121 名	100.0%
関西校	ガソリン	138 名	137 名	99.3%
	ジーゼル	138 名	138 名	100.0%
合計		518 名	517 名	99.8%

＜三級自動車整備士（関西校自動車整備留学生科）＞

	受験者	合格者	合格率
関東校	-	-	-
関西校	55 名	53 名	96.4%
合計	55 名	53 名	96.4%

(3) 就職の状況 ＜求人数と内定数＞

単位：名

	Honda グループ				Honda グループ以外		合計
	四輪販社	二輪販社	本田技研	ホンダ関連	自動車関連	その他	
求人数	844	81	32	94	1,697	498	3,246
内定者	146	16	36	36	60	5	299
(内定比率)	48.8%	5.4%	12.0%	12.0%	20.1%	1.7%	100.0%

(4) 学生募集の状況

単位：名

	1 年生定員 (2025 年度)	応募		入学者	
		2024 年度	2025 年度	2024 年度	2025 年度
関東校	245	208	234	168	181
関西校	250	217	241	196	222
合計	495	425	475	364	403

(5) その他の事業実績

- 自動車整備士国家資格合格率は、上記の表のとおりとなりました。
一級合格率は、個別試験対策強化や資格取得意欲醸成などの教育施策の効果が表れ、例年より伸ばすことができました。一方で、二級、三級においては留学生への日本語教育強化など増加する留学生への対応を進めたものの、数名が不合格となりました。引き続き全級合格率 100%に向けた取り組みを進めてまいります。
令和 7 年度より整備士資格制度変更に伴う教育課程変更対応が二級課程より開始され、教育カリキュラムに電子制御装置整備に関する内容が付加されますが、国土交通省が求める基準に加え、Honda の自動車大学校として電気・電子領域の学びと共に、「環境」「安全」に関する幅広い知識技術の習得など、更なる教育の充実を図ってまいります。
- 就職率は、賛助会企業様を中心にした堅調な求人に支えられ、今期も 100%を達成することができました。
第一志望企業への内定率は目標の 80.0%に対して、91.0%となりました。内定先の内訳としては全体の 48.8%が四輪販売会社への内定となり、Honda グループへの内定は全体の 78.3%を占めることとなりました。
本田技研工業、本田技術研究所の様々な部門から学園生を採用したいという要望が増加してきていると共に、Honda グループ以外の企業様からも多くの求人を頂いております。引き続き、就活(企業)セミナーの改善や学生の希望に沿った企業とのマッチングと就職指導の充実を図ってまいります。
- 退学率は、目標 5.0%以下に対して、6.7%となりました。
主な退学理由は「進路変更」「成績不振」「意欲喪失」となっておりますが、学生個々の事情を踏まえ、学生に可能な限り寄り添ったサポートを実施し、退学抑制への取り組みを継続してまいります。
- 学生募集による令和 7 年度の入学者数は、対前年で+39 名の増加となり、関東校で 181 名、関西校で 222 名、合計 403 名となりました。
令和 6 年度に開催したオープンキャンパスへの動員数は、前年比 107%と増加し、出願者については対前年で+50 名の増加となり、475 名となりました。
18 歳人口の減少、大学進学率の上昇など、厳しさが増す環境の中、各校にて学生募集戦略を抜本的に見直し、高校訪問強化、販売会社との連携、SNS を活用した認知拡大等の施策を実施して参りました。学生紹介キャンペーンなどが功を奏し、紹介実績は計画値を上回り、企業推薦実績も計画値は未達となったものの昨年実績値を上回ることができました。引き続き、「入学者数リバイバルプラン」で設定した目標の必達に向け、様々な施策を展開してまいります。
- 教職員の育成に関しては、管理指標である従業員活性度 3.50pt の目標に対して、3.80pt の実績となりました。教職員を育成する機会を拡大させると共に、教職員自らが自身のキャリアを描けるように取り組んできたキャリアデザインモデル策定プロジェクトを令和 6 年 7 月に完了させ、教職員育成に活用しております。

- ・職場環境改革に関しては、管理指標である従業員活性度(働きやすい環境がある)3.50pt の目標に対して、3.63pt の実績となりました。
より効率的な業務環境の構築を目指している学内システムの刷新においては、学内システム刷新ステップ企画を完了させ、その STEP1 として学生個々の状況に応じて複雑化する学納金の管理システム導入を完了いたしました。令和 7 年度より順次移行していきます。
学校建屋・設備の新規導入および更新については、期初計画に対して 97.2%の実行率となりました。
- ・学校経営基盤の構築に関しては、新たな事業のひとつとして「一級自動車整備士資格取得に対するリカレント教育」の 2nd トライアルに取り組みました。関西校では受講者 10 名全員が合格し、関東校で受講者 6 名中 4 名が合格することができました。2nd トライアルの結果を踏まえ、事業化に向けた検討をさらに進めてまいります。
- ・学校経営体質の強化に向けては、収支差異目標±12%以内に対して、-11.0%の実績となりました。
引き続き、体質強化に向けた取り組みを推進してまいります。

Ⅲ. その他

ホンダ学園は令和 8 年 2 月に創設 50 周年を迎えます。

この節目を迎えるにあたり、これまでの 50 年に感謝し、次なる 50 年に向けた意思表示を示せるような記念イベント・記念事業の企画を令和 6 年夏頃より開始いたしました。議論を重ね、創設 50 周年企画のコンセプトとキャッチコピーを以下のように決めました。

<コンセプト>

ホンダ学園が 世の中に向けて これまでに感謝し 未来へ意志表示する場とする

<キャッチコピー>

Thank you for the last 50 years Let's move you to the next era.

このコンセプト・キャッチコピーを携え、令和 7 年 3 月に創設 50 周年に向けた企画のキックオフイベントを行いました。

今後、創設 50 周年における様々な活動について発信してまいります。

是非、ご期待ください。

以 上